研究課題　術後再発食道扁平上皮癌のリンパ節転移巣、遠隔転移巣に対する外科的切除の意義に関する全国実態調査　に関する情報公開

１．研究の対象

名古屋大学医学部附属病院消化器外科において 2009 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日までに食道扁平上皮癌に対して根治切除が得られた患者様のうち、治療後再発を認め、再発巣に対し外科的切除が行われた患者様を対象にします。

２．研究目的・方法・研究期間

食道扁平上皮癌の根治切除後、単発のリンパ節・臓器再発など限局した領域に再発が生じた場合の治療法として、再発巣切除が選択され得ますが、その適応、有用性に関しては議論の余地があります。

本研究の目的は、現状、少数例での報告に留まっている食道扁平上皮癌の根治的切除後の再発巣に対する外科的切除の治療成績、及び術後合併症発生率などの実態を多施設で調査することにより、再発巣切除の実態を明らかにし、切除により長期予後を期待し得るサブグループを探索することです。

研究期間は、当院での実施承認日から平成 31 年 12 月 31 日までを予定しています。

３．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、併存基礎疾患、腫瘍占拠部位、臨床的進行度、病理組織学的所見、再発部位、再発までの期間、術式(初回及び再発時)、術前・術後併用治療の有無、再発巣切除時の癌の遺残の有無、治療成績などについて調査します。

４．外部への試料・情報の提供

研究事務局へのデータの提供は、郵送にて行います。対応表は、本学の研究責任者が情報漏洩に注意して保管・管理します。

５．研究組織

研究代表者：九州大学大学院医学研究院外科分子治療学講座　准教授　佐伯　浩司
研究協力機関：日本食道学会食道外科専門医認定施設（施設一覧は以下に記載）
ホームページ：https://www.esophagus.jp/files/certified_facilities.pdf

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
〒466-8550　名古屋市昭和区鶴舞町 65　Tel:052-744-2249
研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科　消化器外科学　小池聖彦

研究代表者：
九州大学大学院医学研究院外科分子治療学講座　准教授　佐伯　浩司